

SOS の出し方に関する講話を行いました

(R7.7.24)

令和7年7月18日（金）4時間目に全校生徒を対象にして、本校スクールカウンセラーの川本先生による「SOS の出し方に関する教育」をオンラインで実施しました。



ワークシートを用いて、ものすごく落ち込んで立ち直るのに時間がかかる人とそうでない人の違いについて考えたり、気持ちを崩してしまった時に大切にしたいことや必要だと思うこと等の意見交流をしました。

生徒の中には、「感じ方や考え方は誰もが同じではないと分かった。人それぞれの考えを尊重すべきだと思った。」「悩みを共に解決するためにカウンセラーや仲間がいる。周りを頼って次に進めるということが分かった。」「気持ちの調子を崩すことは誰にでもある。無理せず、誰かに相談しようと思った。」「人それぞれ受け取り方が違うので、そこをきちんと理解して生活していこうと思う。」というような感想がありました。

今回の講話で感じたことや学んだことを大切にして、気持ちの調子を崩した時には誰かに聞いてもらうということも、色々ある対処法の中の一つということを忘れずにいて欲しいと思います。